

植物多様性センターの「オオバコの花」

芝生の中でオオバコの花が見ごろとなっています。よく見ると、同じ株でも異なる花が咲いているように見えます。オオバコは雌雄同株で両性花を咲かせますが、雌しべが雄しべより先に熟す雌性先熟です。雌性期と雄性期、雄しべの葯の色などの個体差があるので、何種類もの花が咲いているように見えたのですね。この後、蓋果と呼ばれるふたのある果実も熟します。見た目は地味ですが、観察が楽しい植物です。



芝生の中のオオバコ:人に踏まれる日当たりのよい場所に生える



雌性期:苞とガクに包まれた蕾の先端から毛の生えた雌しべを伸ばす



黄白色の葯の個体の雄性期:4本の雄しべが下から咲きあがる



紫の葯の個体の雄性期:4裂し星形に開いた花冠から雄しべを伸ばす